

子ども・子育て

たかつき・きのもと認定こども園整備事業 15億4,780万円



耐震性確保、教育環境の改善、就学前教育の充実を図るため、たかつき・きのもと両認定子ども園を新築しました。

産前産後サポート事業 12万円



出産や育児に不安をかかえる人の相談支援を行うため、産科医療機関や開業助産師等のネットワークを構築し、意見交換や研修会を行いました。

学校図書館司書配置事業 270万円



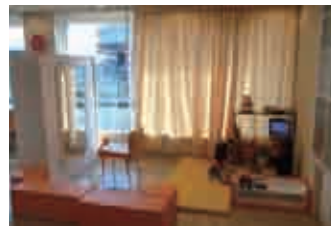
子どもたちが読書に親しみ、思考力や想像力の向上を図れるよう、3小学校の図書室に司書を配置しました。

古保利・七郷小学校プール整備事業 1億4,281万円



古保利および七郷小学校児童の教育環境の向上を図るため、両校にプールを新設しました。

子育てバリアフリー施設整備事業 38万円



子育て中の人々が暮らしやすいまちを目指し、店舗がキッズスペースを設置することなどに対して、支援を行いました。

歴史学習推進事業 160万円



子どもたちが郷土の歴史をわかりやすく学ぶため、ホームページ「わたしたちの長浜」を更新しました。

医療・健康

長浜病院診療支援棟整備負担金 1億円



市民に高度医療の提供を図るため、市立長浜病院に診療支援棟の建設を行いました。

浅井東診療所開設事業 4,978万円



地域の医療を確保するため、浅井東診療所の開設を行いました。

すべての項目でクリア

自治体財政が健全かどうかは下表①～⑤の指標で判断します。

本市の平成26年度決算に基づく健全化判断比率は、すべての指標において基準をクリアしています。ただし、基準をクリアすれば問題がないわけではなく、他の財政指標も含めて総合的に財政状況を分析していく必要があります。

また、市町合併による普通交付税の特例措置は、平成27年度から縮小しており、平成27年度決算から指標が悪化することが見込まれるため、さらなる健全化を進めていきます。

指標	解説	長浜市	県内平均	早期健全化基準*
①実質赤字比率	財政規模に対する一般会計の赤字の割合	赤字なし	赤字団体なし	11.58%
②連結実質赤字比率	財政規模に対する一般会計、特別会計、企業会計すべての会計の赤字の割合	赤字なし	赤字団体なし	16.58%
③実質公債費比率	財政規模に対する年間の借金返済額の割合。これが高いのは借金返済に縛られていることを意味します。	10.0%	8.6%	25.0%
④将来負担比率	財政規模に対する将来負担が見込まれる負債の割合。これが高いと、今後の財政運営に問題が出る可能性が高くなります。	なし	18.0%	350.0%
⑤資金不足比率	公営企業ごとの事業規模に対する資金不足額の割合	なし		

※この基準をこえると、財政再建のための計画をつくり、立て直しに取り組む必要があります。

平成26年度はこんなことに取り組みました

長浜の魅力情報デザイン発信事業 180万円

市民団体との協働により、専用のポータルサイトを構築し、長浜の普段の魅力を全国発信しました。



<http://naga-labo.org/>

黒田官兵衛博覧会開催 1,860万円

黒田官兵衛博覧会を開催し、黒田家発祥の地を全国にPRするとともにボランティアガイドや巡回バスの運行により、約35万人の観光客をもてなしました。

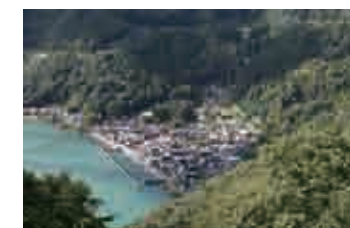


インバウンド事業 4,080万円



長浜の観光情報を海外に向け発信するため、地域の特色を活かした魅力あるガイドツアーの企画やガイドの養成などを行いました。

文化的景観保存活用事業 417万円



西浅井町菅浦と月出集落を文化的景観として保存活用するため啓発紙作成や案内看板作成準備、景観の諸調査を行いました。

観音文化振興事業 624万円

観音文化を全国に発信し、長浜市の都市ブランド力を向上させるため、東京観音展や五木寛之講演会、外国語版プロモーションビデオの作成などを行いました。

